

令和5年3月27日
令和4年度第3回
障害者地域自立支援協議会
資料5

令和4年度

国分寺市障害者地域自立支援協議会専門部会活動報告書

相談支援部会

就労支援部会

精神保健福祉部会

令和4年度 相談支援部会 年間活動報告書

今年度部会の主な取組内容

- ◆ 災害対策に関する取組の検討
- ◆ 緊急を緊急にしないための取組に関する検討
- ◆ 地域生活支援拠点における「体験の機会・場」の取組について検討

活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	5月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の取組の振り返り ・緊急を緊急にしないための取組に関する検討 ・災害対策に関する取組の検討 ・地域生活支援拠点における「体験の機会・場」についての意見聴取 	
第2回	9月13日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急を緊急にしないための取組に関する検討 ・地域生活支援拠点における「体験の機会・場」についての意見聴取(短期入所及びグループホームにおける体験利用について) ・災害対策に関する取組の検討 	
第3回	2月14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・次期障害者計画策定に係る意見聴取(報告) ・災害対策について ・次年度の協議事項について 	
相談支援事業所 連絡会	4月21日(木) 5月19日(木) 6月21日(火) 7月21日(木) 8月18日(木) 9月15日(木) 10月20日(木) 11月24日(木) 12月15日(木) 1月20日(金) 2月16日(木) 3月16日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の計画相談の児者転換の取組について ・事例勉強会：今年度の計画相談の児者転換ケース ・地域生活支援拠点における、体験の機会・場について (日中活動の体験利用における支給、体験利用に関するサービス等利用計画及び個別支援計画について等) ・相談支援に関する加算について ・次期障害者計画策定に係る意見聴取について ・研修(新任・ブラッシュアップ・スキルアップ研修) 消費生活相談について、支給決定基準について 「対人支援職として知っておくと役に立つ！～神経生理学の基礎～」 「障害福祉から介護保険へ～調整期間の有効活用を考える～」 「特別支援コーディネーターの業務・役割について」 	月1回開催
障害児通所支援 事業所連絡会	7月12日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児通所支援事業に係る意見交換 (夏休みの活動、コロナ禍でのイベントについて、不登校の子どもへの対応と学校との連携について等) 	

	2月7日(火)	・障害児通所支援事業に係る意見交換 (市内の特別支援教室等へのSVの巡回について、複数事業所を利用している場合の情報共有の必要性について、就労支援について、放課後等デイサービスにおけるインクルージョンの具体例について等)	
--	---------	---	--

成果・活動から見えてきたことなど

昨年度から引き続き災害対策に関する取組を検討する過程で、市の防災対策について把握をすることから始まった。特に災害発生時における安否確認システムの「避難行動要支援者リスト」についての内容把握や、市のホームページで得られる「避難行動要支援者支援マニュアル」等を集め、情報へのアクセスのしやすさ等についても意見交換を行った。近年は防災対策についての考え方も、自宅を避難場所とする「在宅避難」や、「自助」「共助」の推進へと変化している。災害発生から3日間を乗り切る防災グッズ・備蓄品の準備や安否確認の方法など、平時にどこまで備えているかを支援者が知ることが必要との課題が明らかになった。相談支援として、担当利用者の「避難行動要支援者リスト」への登録の有無や、防災への取組をモニタリング時に簡易に確認できる方法等も今後検討する予定である。

地域生活支援拠点における「体験の機会・場」の充実に向けては、体験利用の報酬化についても障害福祉課で課題を整理していただき、サービス等利用計画案(セルフプラン)や個別支援計画書を簡易に作成できるフォームを検討した。体験利用のあり方については今後も引き続き、国分寺障害者施設担当者意見交換会等での意見も共有し、具体的な取組について進めていくことを確認した。

障害児通所支援事業所連絡会では、教育との連携、複数の事業所間の情報共有等のネットワークの構築や強化が引き続き検討課題となっている。また、児童から成人に切り替わる利用者も増えており、保護者の就労や年金等への関心も高く、成人のサービスへの切れ目のない支援への取組が新たな検討課題となっている。

毎月定例で開催している相談支援事業所連絡会では、児童から者への転換についてのケース検討、ブラッシュアップ研修に参加するなど、相談支援の質の向上に取り組んでいる。また、切れ目のない相談支援体制については、スキルアップ研修で介護保険へのサービス調整期間の有効な活用方法について学び、児童から成人、高齢者までのライフステージにおける切れ目のない相談支援体制を目指した取組を継続している。

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
相談支援部会 第1回 第2回 第3回	6月8日(木) 9月26日(火) 2月6日(火)	・今年度の取組について	
相談支援事業所 連絡会	毎月	・各事業所における現状・課題の報告 ・事例検討及び合同研修について ・災害対策における取組の検討 他	
障害児通所支援 事業所連絡会	7月11日(火) 2月頃	・事業所間の連携・情報共有について ・教育との更なる連携について ・児童から成人への切れ目のない支援体制について	

令和4年度 就労支援部会 年間活動報告書

今年度部会の主な取組内容

- ◆ 就労支援に関する地域の課題の掘り起こしと各課題解決のために必要な取組について協議
- ◆ 国分寺障害者施設お仕事ネットワーク価格表の活用について協議
- ◆ 商業施設での販売会の充実について協議
- ◆ 都立武蔵台学園の見学及び関係者による意見交換の実施

活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	5月20日(金)	① 各作業部会の取組状況報告 ② 令和3年度就労支援部会活動報告 ③ 令和4年度の取組について ④ 地域生活支援拠点における「体験の機会・場」について(意見聴取)	
第2回	9月27日(火)	① 各作業部会の取組状況報告 ② 今年度の取組について (進捗状況の報告や協議等)	
第3回	2月7日(火)	① 各作業部会の取組状況報告 ② 次期障害者計画等策定について (意見聴取) ③ 令和4年度の取組について (進捗状況の報告や協議等) ④ 令和5年度の取組について	
国分寺障害者施設お仕事ネットワーク	定例会毎月1回 原則第2木曜日	* 共同受注に関する進捗状況報告等 * 価格表を活用した新規受注の開拓 * 販売会の企画・提案・実施・課題整理 * 就労支援部会から出される課題についての協議など	商業施設での販売会 ①7月1～3日 ミーツ国分寺 ②12月3・4日 セレオ国分寺 nonowa 西国分寺 *クラフト品等のワークショップも同時開催 ③3月17～19日 ミーツ国分寺
就労支援事業所連絡会 (名称変更)	8月3日(水) 12月7日(水) 2月22日(水)	* 関係機関による一般就労支援に関する課題の共有 * 地域生活支援拠点における「体験の機会・場」について(意見聴取) * 実習先の開拓等についての協議など	就労移行支援事業所4事業所, 就労継続支援B型事業所2事業所, 全6事業所の参加。
武蔵台学園 見学・意見交換	11月29日(火)	武蔵台学園高等部における作業班活動の様子を中心とした校内見学と意見交換を実施した。	
農福連携に関する協議		今年度は協議の場を設けるに至らなかった。	作業部会としては今年度で終了。

成果・活動から見えてきたことなど

農福連携に関しては、農作業などで技術が必要なことを就労支援事業所で受注することは難しく、除草・落ち葉清掃・農機具の片づけ等の役務の受注拡大を目指していくという結論が出たため、今年度で作業部会としては終了し、今後はお仕事ネットワークの価格表を活用して、協議が必要なことは農家やJA等と個別の連携を引き続き続けていくこととなった。

お仕事ネットワークにおける共同受注に関しては、作業の標準化、品質の均一化を図る為に作業マニュアルが必要であり、定例会で整理していく必要があると考えている。また、更に受注能力を強化する為に、必要に応じた近隣他市の事業所やネットワークとの連携については継続課題となっている。

お仕事ネットワークにおける価格表が完成したため、様々な形でチラシを配布してPRする行動を進めた。市報にて掲載し、除草作業の依頼が数件入ったため、実際の反響について情報共有しながら、価格表が活用されることにより、障害のある方の作業・収入の拡充に繋がっていかねばと考える。

販売イベントについては、ミーツ国分寺やセシオ国分寺、nonowa 西国分寺にて実施した。見えてきた課題を元に、工夫や改善点を検討し、次回以降の販売会の売り上げアップに繋げていきたいと考えている。

就労移行支援事業所連絡会は、就労移行支援事業所に限らず、一般就労を支援する事業所（就労継続支援A型、B型）も参加できるようにし、就労支援事業所連絡会に名称を変更して開催した。

地域における実習先の開拓については、地域活性化包括連携協定を結ぶ丸井国分寺店にて令和4年度で計4日間、各1名の実習生を受け入れていただいた。その他の実習受け入れを了承していただいている企業等での実習については、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてからの回答のため、実施できていない状況が継続している。今後も実習機会について調整を図る予定。その他、庁内実習等については概ね予定通りに実施した。

市内就労支援事業所が特別支援学校の見学や意見交換を行うことで円滑な就労支援事業所への移行や効果的な学校実習に繋げることを目的に、都立武蔵台学園への見学会を11月29日（火）に開催し、学校と施設との違いを知る機会となるなど、今後の連携に向けても貴重な機会となった。

地域生活支援拠点における「体験の機会・場」を充実させる為、障害者就労支援事業所が実施する体験実習を報酬化していくことをお仕事ネットワークや就労支援事業所連絡会等で協議を行った。

今後の活動予定

就労支援部会	第1回 6月6日(火) 第2・3回 未定	①各作業部会の取組状況報告 ②令和5年度の取組について	
国分寺障害者 施設お仕事 ネットワーク	定例会毎月1回 原則第2木曜日	*共同受注に関する進捗状況報告等 *価格表を活用した新規受注の開拓 *販売会の企画・提案・実施・課題整理 *就労支援部会から出される課題について協議等	
就労支援 事業所連絡会	不定期 (年2～3回程度)	*関係機関による一般就労支援に関する課題の共有 *庁内実習や実習先の開拓等の協議	

令和4年度 精神保健福祉部会 年間活動報告書

今年度部会の主な取組

◆全体を通じて「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて協議を行った（継続）。

- ① 「地域生活支援拠点」機能についての精査を行う。特に精神障害者の体験の機会・場に求められる機能について検討した。
- ② 精神障害者に必要な緊急時の支援についてニーズの整理や必要な機能について協議した。
- ③ 教育分野のこころの健康に関する支援の現状や課題の共有及び普及啓発について検討した。
- ④ 精神障害当事者の方からの生活状況や暮らしのニーズ等のヒアリングを行い、今後の支援の課題を抽出し、施策・制度への反映を模索した。
- ⑤ 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に欠かせない要素である居住支援の実際について現状の把握を行った。
- ⑥ 地域移行等支援連絡会において、「退院意欲喚起のためのツール作成」など退院支援の体制構築の取組を進め、近隣市の精神科病院へのアプローチを重ねた。

活動内容及びスケジュールなど

	日にち	内容
第1回	5月27日(金)	<p>◆今年度の協議内容について</p> <p>①地域生活支援拠点に求められる「体験の機会・場」の提供について ⇒ハードとソフト面の拡充</p> <p>③精神障害に関する普及啓発活動・広報等について ⇒教育との連携</p> <p>④前年度当事者ヒアリングの振り返りと今年度のヒアリングの取組について</p> <p>⑥地域移行等支援連絡会（旧：地域移行支援ワーキング・グループ）の活動報告と位置づけについて ⇒精神科病院へのアプローチ（退院意欲喚起ツールの作成を含む）</p>
第2回	8月26日(金)	<p>①「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」と地域生活支援拠点の連動について ⇒緊急時の支援におけるニーズの整理や必要な機能の検討</p> <p>③精神障害に関する普及啓発活動・広報等について ⇒教育研究会学校保健部会への参加報告、教育分野のこころの健康に関する支援の現状及び課題の整理</p> <p>⑥地域移行等支援連絡会の活動報告及び今後の活動について</p>
第3回	11月18日(金)	<p>②「緊急時の支援」を含む地域生活支援拠点のあり方について ⇒今後の支援における課題の抽出</p> <p>④当事者ヒアリングの実施に向けて ⇒設問項目の検討、ピアサポーター等の活用についての協議・検討</p> <p>⑤居住支援について ⇒現状把握と課題整理</p> <p>⑥地域移行等支援連絡会の活動報告及び今後の活動について</p>
第4回	2月3日(金)	<p>◇北多摩西部圏域の医療連携の動きの確認について</p> <p>④当事者ヒアリング ⇒生活状況把握・要望の聞き取り</p> <p>⑥地域移行等支援連絡会の活動報告及び今後の活動について</p> <p>◆次年度に向けての課題・取組について</p>
ワーキンググループ	4月12日(火) 5月10日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・新旧部会員の交代と昨年度の振り返り ・退院意欲喚起のためのツール作成について ・今年度の近隣市精神科病院訪問についての打ち合わせ ・個別ケースの取組について
スキルアップ研修（地域移行）	6月17日(金)	<p>◆地域移行支援 in 国分寺「地域支援機関と精神科病院との連携」～連携事例を共有し、具体的な取組につなげよう～</p>

地域移行等 支援連絡会	6月13日(月)	・退院意欲喚起のためのツール作成について
	7月11日(月)	・8月に行われる養護教諭との連携について
	8月4日(木)	・個別ケースの取組について
	8月9日(火)	・近隣市精神科病院訪問についての打ち合わせ
	8月10日(水)	・教育研究会学校保健部会への出講
	9月13日(火)	・近隣市精神科病院訪問(常務理事との会合)
	9月29日(木)	・近隣市精神科病院訪問の振り返り
	10月18日(火)	・地域移行の取組の今後の進め方について
	11月4日(金)	・近隣市精神科病院へ退院意欲喚起のためのツール受渡し
	12月27日(火)	・退院意欲喚起のためのツールに関する各精神科病院からの感想振り返り
	1月10日(火)	・退院意欲喚起のためのツール第2弾作成について
	2月3日(金)	・地域移行支援等事業の「体験の機会・場の提供」についての意見聴取
	2月10日(金)	・次年度ネットワーク研修Ⅰ(地域移行)について
	3月17日(金)	・作業部会として受けるケースコンサルテーションについての打ち合わせ
		・個別コンサルテーション

成果・活動から見えてきたことなど(課題整理)

- ◆「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」において重要な支援要素となる地域生活支援拠点の機能の充実に向け、本会全体で「体験の機会・場」に関して、短期入所事業等における「ミドルステイ」の有効性を検討し提案を行った。引き続き協議を重ね、地域生活支援拠点機能への反映を目指す。
- ◆昨今の8050問題の実態から、障害福祉分野と高齢福祉分野にまたがる緊急時の支援について事例を基に協議を行った。日ごろからの医療との連携や、緊急事態に備えたアセスメントと対応方法の情報共有が大切である。また、支援者間で顔の見える関係を構築できている場合は、緊急事態の発生時でも比較的スムーズに対応が来ていることを確認し、平常時から顔の見える関係の構築を意識して支援していくことが、重要であると確認した。
- ◆普及啓発は、市立小中学校養護教諭の研修会へ参加し、市内の精神保健福祉の相談機関や相談方法等について情報発信した。高校の保健体育の教科書に精神疾患や精神保健福祉等の記述が40年ぶりに復活したことを鑑み、今後は高校への関わりを含め、養護教諭の定期会合等への部会構成員の派遣を行い、若年層への普及啓発の拡大を図ることを検討した。
- ◆精神障害当事者から生活の実情、課題とニーズを直接ヒアリングした。聞きとった話の中から支援施策への反映を意識しながら、今後の部会の進むべき方向性を確認した。また、当事者からのヒアリングは今後も継続していくことを確認した。
- ◆長期入院中の国分寺市民の方々の実態の把握と地域移行支援をより進めていくために、発足したワーキング・グループを作業部会(地域移行等支援連絡会)へと位置づけ、定期開催を行った。加えて、市民の入院患者が多い病院訪問を実施し、常務理事やソーシャルワーカー・作業療法士を中心に協議を重ねることで、つながりを強めている。実質的な地域移行を推進していくために、部会としてケース検討を行い、好事例を作っていく。
- ◆「退院意欲喚起のためのツール(グループホームの紹介動画)」を作成し、ネットワーク研修Ⅰで関わった近隣の三か所の精神科病院へ配布した。入院患者以外にも精神科医や看護師等の病院職員が地域移行後の状況を知るにも使えるなどの好評価を頂いた。今後については、病院以外での活用や続編の作成について検討を行っていく。

今後の活動予定

- ◆当事者ヒアリングは継続的に実施し、幅広くニーズや課題を把握していきながら地域生活支援拠点や「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築につなげていく。
- ◆作業部会(地域移行等支援連絡会)を中心に、個別支援ケース検討や「退院意欲喚起のためのツール」作成を行い、また病院との関係づくりと個別支援の好事例づくりの両輪で、地域移行や地域定着支援に必要な体制整備を進めていく。
- ◆8050問題や、高校の保健体育の教科書内容の変更を鑑み、プライマリケアの重要性について普及啓発するための他領域との交流を進める。

次年度の活動スケジュール

第1回	令和5年	6月23日(金)	午後	国分寺市役所書庫棟会議室
第2回	令和5年	10月6日(金)	午後	国分寺市役所書庫棟会議室
第3回	令和6年	2月2日(金)	午後	cocobunji プラザリオンホール A ホール

その他、地域移行等支援連絡会を定期開催。

